

事業番号 2022 - 文科 - 21 - 0214

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	科学技術分野の文部科学大臣表彰			担当部局	研究振興局	作成責任者						
事業開始年度	昭和34年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	振興企画課	奨励室長 丸山 智						
会計区分	一般会計											
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	-							
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興							
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的とする。											
事業概要 (5行程度以内。別添可)	科学技術分野の文部科学大臣表彰についての審査・選考を行い、表彰を行う。 ・科学技術特別賞 ・科学技術賞(開発部門、研究部門、科学技術振興部門、技術部門、理解増進部門) ・若手科学者賞 ・創意工夫功労者賞 ・研究支援賞											
実施方法	直接実施											
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	令和元年度	24	令和2年度	24	令和3年度	25	令和4年度	25	令和5年度要求	25
		補正予算	令和元年度	-	令和2年度	-	令和3年度	-	令和4年度	-	令和5年度要求	-
		前年度から繰越し	令和元年度	-	令和2年度	-	令和3年度	-	令和4年度	-	令和5年度要求	-
		翌年度へ繰越し	令和元年度	-	令和2年度	-	令和3年度	-	令和4年度	-	令和5年度要求	-
		予備費等	令和元年度	-	令和2年度	-	令和3年度	-	令和4年度	-	令和5年度要求	-
		計	令和元年度	24	令和2年度	24	令和3年度	25	令和4年度	25	令和5年度要求	25
	執行額	令和元年度	19	令和2年度	19	令和3年度	20	令和4年度	-	令和5年度要求	-	
	執行率 (%)	令和元年度	79%	令和2年度	79%	令和3年度	80%	令和4年度	-	令和5年度要求	-	
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	令和元年度	79%	令和2年度	79%	令和3年度	80%	令和4年度	-	令和5年度要求	-		
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由								
	庁費	15	14									
	褒賞品費	6	6									
	諸謝金	2	4									
	委員等旅費	2	0.3									
	職員旅費	0.4	0.4									
計	25	25										
活動内容 (アクティビティ)	我が国の社会・経済、国民生活の発展向上等における最近の科学技術上の成果を顕彰するとともに、その成果に対する功績が顕著な者を表彰する。											
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込			
	科学技術に携わる者の意欲が向上し、我が国の科学技術水準の向上に寄与する。	科学技術賞の推薦者数	活動実績	件	245	290	278	-	-			
			当初見込み	件	237	245	290	278	278			
活動内容 (アクティビティ)	次代を担う若手研究者の自立を促し、独創性の高い科学技術の発信に貢献するため、萌芽的な研究あるいは、独創的視点に立った研究等高い研究開発能力を示した若手研究者を表彰する。											
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込			
	科学技術に携わる者の意欲が向上し、我が国の科学技術水準の向上に寄与する。	若手科学者賞の推薦者数	活動実績	件	353	377	371	-	-			
			当初見込み	件	304	353	377	371	371			

活動内容 (アクティビティ)		鉄鋼、農林、水産、運輸、通信、建設、保健衛生、電力ガス等の業務に従事する勤労者のうち、工場等における職長以下の工員、農林水産業従事者、医療補助者、研究所における研究補助員、技能職員及びこれと同程度のものであって、優れた創意工夫によって各職域における技術の改善向上に貢献した者を表彰する。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
		科学技術に携わる者の意欲が向上し、我が国の科学技術水準の向上に寄与する。	創意工夫功労者賞の推薦者数	活動実績	件	2,202	1,935	1,799	-	-
				当初見込み	件	2,503	2,202	1,935	1,799	1,799
活動内容 (アクティビティ)		科学技術の発展や研究開発の成果創出に向けて、高度で専門的な技術的貢献を通じて研究開発の推進に寄与する活動を行い、顕著な功績があったと認められる個人またはグループを表彰する。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
		科学技術に携わる者の意欲が向上し、我が国の科学技術水準の向上に寄与する。	研究支援賞の推薦者数	活動実績	件	70	44	46	-	-
				当初見込み	件	-	70	44	46	46
活動内容 (アクティビティ)		科学技術分野における発明において優れた事績を挙げた者を表彰する。								
単位当たりコスト		算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
		執行額/推薦者		単位当たりコスト	円	6,585	7,275	7,998	10,140	
				計算式	円/件、人	18,899,793/2,870	19,250,037/2,646	19,946,347/2,494	25,290,000/2,494	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 年度
		科学技術分野における褒章受章者数を前年度同数以上とする。	人数	成果実績	人	7	6	6	-	-
				目標値	人	5	7	6	6	6
				達成度	%	140	85.7	100	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)		科学技術分野における褒章受賞者数								
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	8 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化								
	施策	8-1 科学技術・イノベーションを担う人材力の強化	政策評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221012-mxt_kanseisk01-000024706-03.pdf						
			該当箇所	達成手段「科学技術分野の文部科学大臣表彰」						
	新経済・財政再生計画改革工程表	分野:	-							
	取組事項	(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	-							
		該当箇所	-							
事業所管部局による点検・改善										
国費投入の必要性	項目					評価	評価に関する説明			
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。					○	本事業の目的は、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、我が国の科学技術水準の向上に寄与することであり、国民や社会のニーズを的確に反映している。また、事業実施に当たっては、社会情勢を踏まえた各種見直しに努めることで一定程度の推薦者数を維持しており、国民や社会のニーズを的確に反映している。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					○	事業の有効性を高めるため、公募の際の推薦依頼方法の見直しやリーフレット等による関係機関への事前周知依頼等により、推薦数の増加に努めており、活動実績は見込みに見合ったものとなっている。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。					○	顕彰制度により科学技術の振興・発展に寄与することを目的とする当事業は、他事業による代替が困難であり、優先度は高い。			

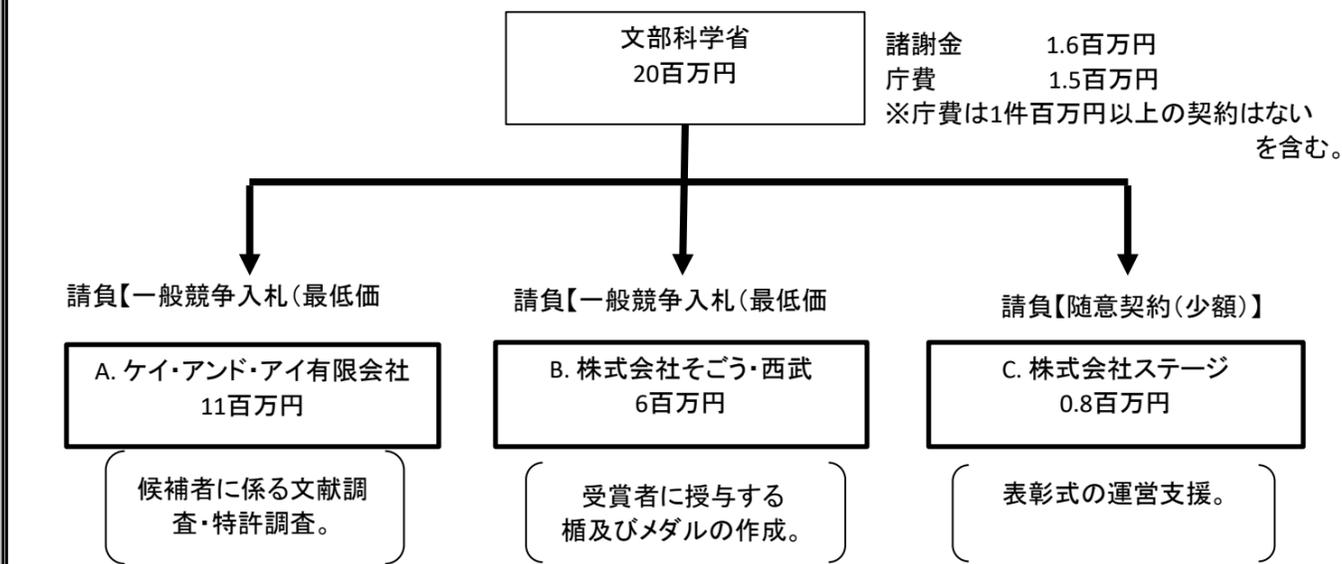
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札により支出先を適正に選定するなど、競争性の確保及び単位あたりのコスト削減に努めている。また、随意契約についても見積り合わせにより、より安価な支出先を選定している。さらに、一者応札となった際は入札辞退者に対して辞退理由のアンケート調査を行うなど、改善に努めている。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	一般競争入札により支出先を適正に選定するなど、競争性の確保及びコストの削減に努めている。また、社会のニーズを踏まえた各種見直し等を行うことで推薦者数の増加にも努めており、単位当たりコスト(執行額/推薦者数)の水準は妥当である(約2500件の審査を約25百万円で実施)。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	支出は、候補者の文献・特許の調査、表彰対象者を選考する有識者で構成される審査委員会に関する謝金・旅費、表彰時の褒章品等、真に必要なものに限定している。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	随意契約についても見積り合わせを行うことで、より安価な支出先を選定し、コスト削減に努めている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果実績は、成果目標をほぼ達成しており、成果実績は成果目標に見合ったものである。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	審査については、研究業績の一部に非公表の内容が含まれることがあるため、外部委託など他の手段・方法を用いることは難しいが、賞状、副賞の作成や候補者の調査業務などの用務は外注することで効果的かつ低コスト化を図っている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	事業の有効性を高めるため、公募の際の推薦依頼方法の見直しやリーフレット等による関係機関への事前周知依頼等により、推薦数の増加に努めており、活動実績は見込みに見合ったものとなっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
点検・改善結果	点検結果	本事業は、国において継続して実施すべきものである。 また、随意契約については見積り合わせにより、より安価な支出先の選定を行い、一般競争入札についても、十分な入札公告期間、契約の競争性を確保し、引き続き効率的な事業の実施に努めている。	
	改善の方向性	多くの者が入札に参加できるよう引き続き入札公告期間の確保に努め、より一層の契約の競争性の確保を図ることとする。	
外部有識者の所見			
外部有識者による点検対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見			
事業内容の一部改善の	この事業は昭和34年度以降長期に継続している事業であり、我が国の科学技術水準の向上に寄与するために引き続き適切に実施すべきである。執行状況についてはコストを意識し・競争性の確保に向けた取組を行っていることが見受けられるが一者応札の状況等から鑑み、より一層の公告期間の確保や仕様の見直しなど競争性・透明性の確保に努めるべきである。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
執行等改善	本事業については、さらに多くの者が入札に参加できるよう、例年より公告期間を延ばすことで入札公告期間の確保に努める。		
備考			

関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成23年度	220			
平成24年度	238			
平成25年度	184			
平成26年度	182			
平成27年度	172			
平成28年度	200			
平成29年度	208			
平成30年度	207			
令和元年度	文部科学省 - 0198			
令和2年度	文部科学省 0200			
令和3年度	2021 文科 20 0215			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.ケイ・アンド・アイ株式会社			B.株式会社そごう・西武		
	費目	使途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
	雑役務費	候補者に係る文献調査及び特許調査	11	消耗品費	受賞者に授与する盾及びメダルの作成	6
	計		11	計		6
	C.株式会社ステージ			D.		
	費目	使途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
	雑役務費	百万円未満のため省略				

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額(百万円)	契約方式等	入札者数(応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策(支出額10億円以上)
1	ケイ・アンド・アイ株式会社	1010002032873	候補者に係る文献調査及び特許調査	11	一般競争契約(最低価格)	1	99.3%	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額(百万円)	契約方式等	入札者数(応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策(支出額10億円以上)
1	株式会社そごう・西武	6010001127026	受賞者に授与する盾及びメダルの作成	6	一般競争契約(最低価格)	2	88.3%	-

